

Fuji Sankei Business i.

創刊33年 1月27日 第三種郵便物認可
日曜休刊

2017 (平成29) 年

7/26 [水]

<日刊21575号>

※フジサンケイビジネスアイ

ダイトウボウ株式会社

daitobo since 1896

東証1部上場 (証券コード: 3202)

◎商業施設 ◎ヘルスクア ◎繊維・アパレル

東京都中央区日本橋本町1-6-1



やまうち・かずひろ 大阪市立大法学。1979年三井信託銀行 (現三井住友信託銀行) 入行。新宿西口支店長を経て2009年6月大東紡織 (現ダイトウボウ) 入社。常務、専務を経て15年6月から現職。大阪府出身。

ダイトウボウ社長 山内 一裕さん (60)

トップは語る

——社名変更など事業内容の大改革を進めている

「1896年に羊毛紡織会社として発足し、アパレルや中国進出などいろいろやってきたが、ずっと繊維が核だった。この繊維・アパレル事業を大幅に縮小し、静岡県清水町の大型ショッピングセンター「サントムーン柿田川」を中心とする商業施設事業と健康関連寝具などのヘルスクア事業に注力している」

——改革に踏み切ったきっかけは

「2016年に創業から120年を迎えたことだ。半支でいうと閉中で新しい改革をしないと成功するといわれている。私自身も金融から製造業に転じて丸6年たち、長年考えていたことを実行に移すときが来たと思った。社名を『大東紡織』から『ダイトウボウ』に改め、シンジケートローン (協同融資) を導入し、監査等委員会設置会社に移行するなど一気に実行した」

——銀行取引の見直しは簡単ではなかったと思うが

「取引行の皆さまが私の考えを支持してくれた。黒字化が定着し、支払い余力を示す流動性比率は40%から200%に近くなった」

——次の課題は

「改革によってできた新しい器に魂を入れる作業、つまり人材の育成だ。経営人材、女性やシニアの活用などに長期的な視野で取り組んでいきたい。それぞれの事業は全てを自社でやるのではなく、実績ある企業と事業や資本の提携も活用して事業領域を広げていく。M&A (企業の合併・買収) も選択肢の一つだ」

——いまの主力は商業施設事業だが

「高齢化の進展に伴いヘルスクア事業は需要の拡大が期待できる。欧米でペットは人生を共にする伴侶動物 (コンパニオンアニマル) と言うそうだ。人とペットの健康長寿に貢献したいと考えている」

経営人材、女性やシニア活用に注力